

時代をひらく書体をつくる。

書体設計士・橋本和夫に聞く

活字・写植・デジタルフォントデザインの舞台裏

活字、写植、デジタルフォントと、3世代の
長きにわたって、「本蘭明朝」「岩田細明朝」
「ナール」「イワタUDゴシック」など

日本の書体史の主軸となる有名書体の
設計・監修を手がけた橋本和夫。

その橋本に数年に渡ってインタビューを取行し

日本の書体デザインの流れを紐解き、

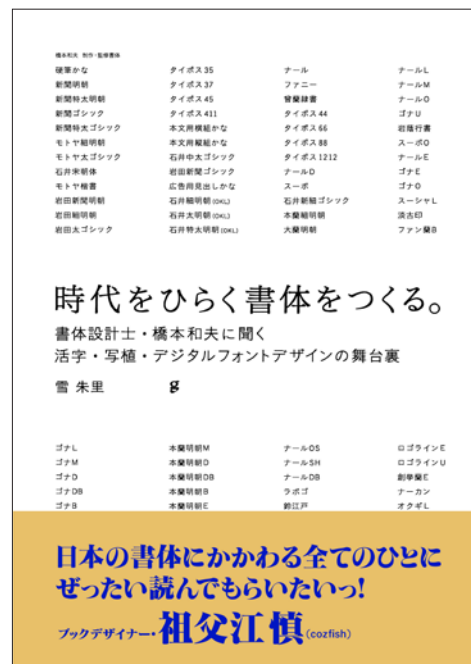
その裏に隠されたストーリーを紡いだ、

書体デザインに興味のある人必読の1冊。

日本の書体デザインの歴史のなかには、その存在の重要さに関わらず、あまり知られていないデザイナーがいる。その筆頭が、金属活字・写植・デジタルフォントの三代目で書体デザイン・制作・監修を経験し、特に写研で大きな功績を残した橋本和夫だ。日本の書体史の主軸となる部分を築いてきた人である。本書では、橋本への丁寧なロングインタビューを通して、これまであまり語られてこなかった、だが間違いなく現在のルーツとなる書体デザインの舞台裏を浮かび上がらせ、日本の書体の知られざる流れを紐解いていく。

本書の見どころ

- ①活字時代からの書体デザイン史を、当事者の証言を元にまとめた唯一の本。
- ②デザイナーなら絶対知っている、複数の有名書体を設計・監修した橋本和夫唯一の本。
- ③巻末の橋本と書体に関連した年表の資料性は超一級品。



雪 朱里 著 / 定価: 2,700円(税別)

ISBN978-4-7661-3460-5 C3070

A5判 / 上製本 / 総304頁 / オールカラー

地区	書店コード	書名	注文数
書店印		<p>新刊</p> <p>時代をひらく書体をつくる。</p> <p>雪 朱里 (ゆきあかり) 著 ISBN978-4-7661-3459-9 C3070 本体: 2,700円</p>	冊